



<発表資料>

- 社史・アーカイブ総合研究所 -

社史制作における編纂委員会の役割

社史編纂に関わる組織としては、意思決定機関である編纂（編集）委員会と、実務機関である編纂事務局/編集室があります。今回は編纂委員会の主な役割について以下に記します（囲み参照）。

まず、編纂委員会には検討と決裁という2つの大きな役割があります。

何を検討し、決裁するのかというと、編纂事務局/編集室で立ててきた企画や編集方針、原稿内容、予算などの重要な項目について、検討をして決裁していくということになります。

編纂委員会の主な役割

- 全体の方向付け
- 指示、決裁
- 情報提供
- 取材への協力
- 社内への告知、協力の要請

編纂委員会のメンバーは、役員が兼務していることもありますが、各主要部門で社歴が長い方や代表者によって構成されるので、少なくとも7~8人、多い場合は14~15人になります。委員長に現役の役員クラスが就任すると、会社全体として取り組む姿勢が明確になるので、作業が運びやすいと思います。

編纂事務局/編集室の悩みの一つに「各部署に検討を投げかけてもきちんと対応してもらえない」というのがあります。これには、経営層や編纂委員会から社史編纂への協力呼びかけを正式に出すことが必要になります。社内での社史の位置づけを明確にし、依頼された方たちが社史の検討に時間を確保してもらえるようにします。そうしないと、編纂事務局/編集室の担当者だけが孤軍奮闘することになります。

全社横断的に動員するサポートは、経営層や編纂委員会にしかできない仕事です。こうして社史編纂の意義を関係者間で十分に共有してこそ、スムーズな工程管理が可能になります。



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目8-8 アクロス新川ビル 4F
TEL 03-6824-9113 FAX 03-6824-9110 ✉ info@shashi-archive.jp 担当：鈴木

<https://shashi-archive.jp/>

No.00048

2023年1月19日

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

- 組織情報 -



ビジネスのDNAを次世代に伝える

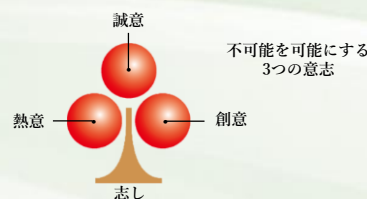
出版文化社

【代表者】
代表取締役社長 木戸清隆
【創立】
1984年2月6日
【資本金】
99,234,300円

【東京本部】
東京都中央区新川1-8-8
アクロス新川ビル4F
TEL：03-6823-6820（代）
【大阪本部】
大阪市中央区久太郎町3丁目4-30
船場グランドビル8F
TEL：06-4704-4700（代）
【名古屋支社】
名古屋市熱田区五本松町7-30
熱田メディアウイング3F
TEL：052-990-9090（代）

Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。
編集は自社内で一貫して行っています。
専門家＝アーキビストが常駐しています。
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute
代表者 小谷允志
設立 2019年10月1日
研究員数 10名（東京6名・大阪4名）